

日比谷交差点に近い日比谷公園の一角に日比谷見付跡の案内看板がある。小生が勤務した市ヶ谷駐屯地近くの四谷や市ヶ谷にも「見付」があった。見付すなわち見張番所である。江戸城外郭は外曲輪（そとくるわ）とも云い、隅田川と江戸城・外堀によって囲まれる範囲である。外堀は北側が神田川、西から南側は四谷赤坂に至る。江戸城内堀（現在の皇居及び



皇居外苑)の外縁を囲んでいる。江戸城の内側から二番目の外郭防衛施設である。外部から城内に入る筋道には、城門、見付をおいて警備され、俗に 36 見付といわれる。36 というが、門ならばもっとあったようだが、重要な門で云えばそれ程はないと言う。

主要なものを列挙する。それらを連ねてみると大体の範囲が理解できよう。浅草橋、小石川、牛込、市ヶ谷、四谷、赤坂、虎ノ門、数寄屋橋、鍛冶橋、呉服町、神田橋、一つ橋、竹橋、麴町、外桜田、日比谷、和田倉、大手、等々。江戸城を中心にして同心円と云う訳ではない。渦巻状と思えば解りやすいか。

WBCにおける日本の準決勝進出、棚ボタであるけれども先ずは悦ばしい。それにしても米国戦に於ける不可解な判定と同様のジャッジがメキシコ戦でも惹起したことをどう考えれば良いのか。米国の本音が垣間見えたと言うべきか、フェアを標榜するけれども、それは彼等にとっての公正であって普遍的なものではない、馬脚を露わしたか。断定的に考えずに、彼の審判だけの問題であると考えことにしよう。

明日の韓国戦、さてどうなることやら、是非とも勝利して貰いたいものである。出来るならば完膚なきまでに圧倒して欲しいものだ。それと言うのも、韓国の熱狂振り、日本打倒こそ愛国心の発露と云わんばかりの発言を聞くにつけ、当方も敵愾心を喚起されてくる。たかが野球、スポーツではないかと思っけていても、彼らがそこまで当方に敵愾心をぶっつけてくるのであれば受けて立たざるを得ない。そういう気持ちになってしまう。

韓国の反日は政府が煽って国民が雷同し、それが政府を突き動かすと言う悪循環に陥ってしまっている感がする。このような状況では日韓の親善友好は少なくとも 2,3 世代を経なければ叶わないのではないだろうか。

最近では、近代的な民主主義国家では考えられない「親日反民族行為者財産財産還収特別法」と言う近代法を踏みにじる呆れた法律がまもなく成立しそうだ。李完用、宋秉畯など、親日反民族行為者とその子孫の財産を没収し、独立功労者とその子孫に与えるという、事後法禁止すなわち遡及処罰の禁止を蔑ろにしているのは明らかである。考えられない事態である。何と言うお国柄であろうか。このような国の行為に一々反応していたら身が持たない。ほっとくに限ると言う考えもあるが、それでは日本は彼等の主張を認めてしまったと受け取られかねない。手間隙は掛かるが、やはり言うべきは言うべきであり、さらに

は世界に向かって日本の主張を発信すべきである。云われっぱなし、やられっぱなしの現状から脱却しなければならない。韓国と中国に対しては日本は変な贖罪意識を持つことなく、正々堂々と対応しなければならない。日本が朝鮮半島や支那大陸で戦いを行ったことは事実であり、謝罪すべき点も多々あったのであろう。然しながら、従軍慰安婦が完全な捏造であり、南京大虐殺にしてもその殆んどは虚構であることも次第に明らかになっている、また盧溝橋ですら日本軍は受動的であってやむを得ず対応してことも明らかになっているにも拘らず、日本人の心に植えつけられた罪の意識はなかなか抜けない。自虐史観といわれる所以であろうか。

(参考：各種HP)